

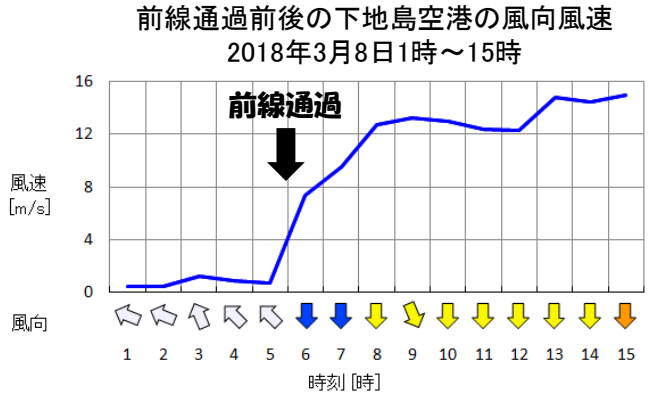
冬季から春先にかけて、強風・高波 に注意が必要です。

◇冬季から春先にかけて、海難事故が多く発生します

冬季から春先にかけて、低気圧や前線の通過後は、強風、高波による海難事故が多く発生します。過去には、遊泳や釣り、カヌーなどのマリレジャー中に、高波にさらわれたり潮流に流されたりしています。また、船舶が遭難したり、浅瀬に乗り上げたりする事故もありました。気象情報を活用して、海難事故に遭わないように、自分の身は自分で守りましょう。

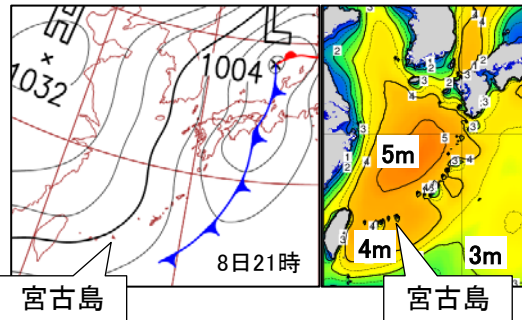
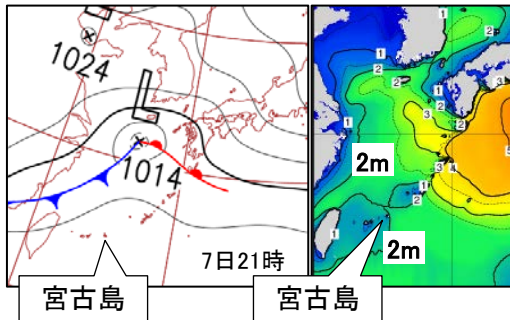
◇低気圧や前線が通過する前後で、風や波が大きく変わります

冬季から春先にかけては、発達する低気圧や前線が周期的に沖縄近海を通過します。低気圧や前線の通過前は、風は弱く、海も比較的穏やかです。しかし、通過時には風向は急変し、風速は急激に強まり、波は高まります。その後も、大陸の高気圧が張り出すため強い北風が吹き続け、2～3日程度しけや波の高い状態が続きます。このため、低気圧や前線の通過後は、風の強まり、波の高まりに注意が必要です。



前線通過前: 2018年3月7日21時

前線通過後: 2018年3月8日21時



(左) 地上天気図
(右) 沿岸波浪実況図

2018年3月8日の事例を見ると、前線通過前は南よりの弱い風でしたが、前線通過後には北よりの強い風に変わりました。また、沿岸の海域では波が高まり、しけの状態となりました。

◇気象情報を活用しましょう

強風(暴風)や高波により災害が発生するおそれのあるときには、強風(暴風)や高波となる3～6時間前に注意報や警報を発表し、注意や警戒が必要な期間や風向・風速、波高についても示します。日々の天気予報でも、明後日までの風向・風速や波高を発表しています。特に危険な状況である大しけやそれに近いしけ、風や波の急激な強まりや高まりが予想される場合には、数日前から「強風(又は暴風)と高波に関する宮古島地方気象情報」を発表します。

マリレジャーや船舶など海での活動の際は、必ず事前に注意報や警報、気象情報の確認をお願いします。また、テレビやラジオだけでなく、気象台ホームページなどを使って自ら情報を入手することも大切です。これらの情報を活用し、海難事故を防ぎましょう。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30～17:15)